

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果

～厚真町の児童生徒の概況～

1 調査の目的

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する施策と継続的な検証改善サイクルを確立して学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日

令和8年4月23日（木）国語、算数・数学

その他 英語 CBT、児童生徒質問紙は、指定された日程で実施。

3 調査の対象児童生徒（実施総数）

	厚真町	北海道（公立）	全国（公立）
小学校	28 人	33, 169 人	922, 411 人
中学校	28 人	32, 596 人	841, 873 人

4 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

中学校・英語は、オンライン形式（Computer Based Testing 以下 CBT）で実施されています。

(2) 児童生徒に対する調査 オンライン形式（CBT）

(3) 学校に対する調査

5 結果内容の構成

(1) 調査結果の概況

(2) 領域別の結果概況（小学校国語・算数、中学校国語・数学）

中学校・英語は CBT による調査のため、学校によって問題が異なる。このことからグラフでは示していません。

(3) 児童・生徒質問紙調査の概況（小・中学校）

基本的な生活習慣、学習時間等、自尊意識、将来に関する意識、規範意識

厚真町教育委員会

令和8年9月

(1) 調査結果の概況

① 厚真町の児童（小学校）の概況（数値は、「%」を表しています）

【国語】

国語 平均正答率

厚真町	55
北海道（公立）	60
全国（公立）	60.9

本町の児童の国語の平均正答率は
全道、全国より低い範囲に属しています。

【算数】

算数 平均正答率

厚真町	52
北海道（公立）	54
全国（公立）	56.4

本町の児童の算数の平均正答率は
全道、全国より低い範囲に属しています。

② 厚真町の生徒（中学校）の概況（数値は、「%」を表しています）

【国語】

国語 平均正答率

厚真町	64
北海道（公立）	63
全国（公立）	63.9

本町の生徒の国語の平均正答率は
全道、全国とほぼ同等の範囲に属しています。

【数学】

数学 平均正答率

厚真町	51
北海道（公立）	55
全国（公立）	57.0

本町の生徒の数学の平均正答率は
全道、全国より低い範囲に属しています。

【英語】

英語 平均正答数 聞くこと 読むこと・話すこと

厚真町	3.4	1.3	2.2
北海道（公立）	3.5	1.2	2.4
全国（公立）	3.7	1.2	2.5

本町の児童の英語の平均正答率は
全道、全国とほぼ同等の範囲に属しています。

英語 IRT スコア （IRT スコアは、500 を基準とした得点で表されます。）

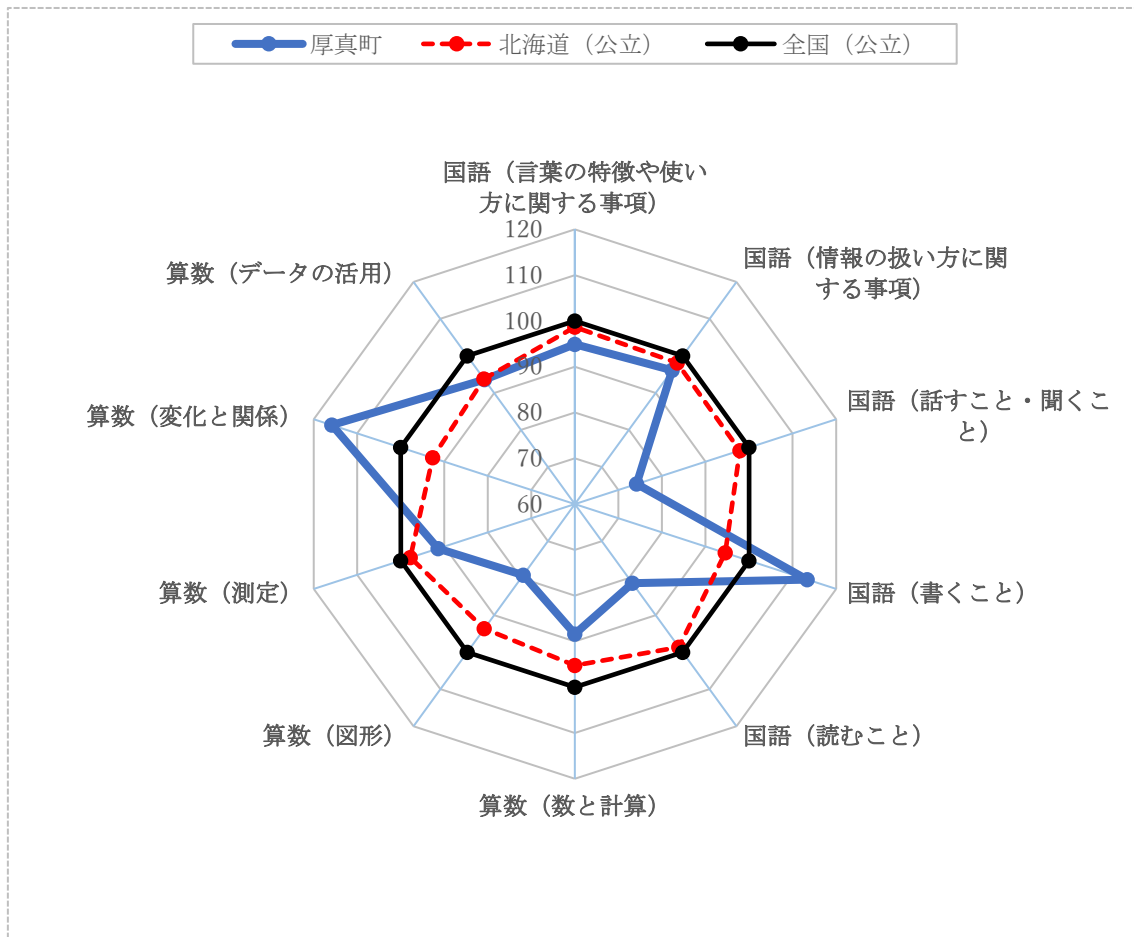
厚真町	481
北海道（公立）	489
全国（公立）	499

本町の生徒の英語の IRT スコアは
全道、全国より低い範囲に属しています。

* 中学校・英語は、今年度のオンライン形式（CBT）で実施され、項目反応理論（IRT）スコアで示されています。（IRT は、問題の難易度や受験者の能力を個別に考慮して、より正確な評価を行うための理論のことです。）

(2) 領域別の結果概況 (グラフは、全国（公立）の平均値を100として表しています)

【小学校】



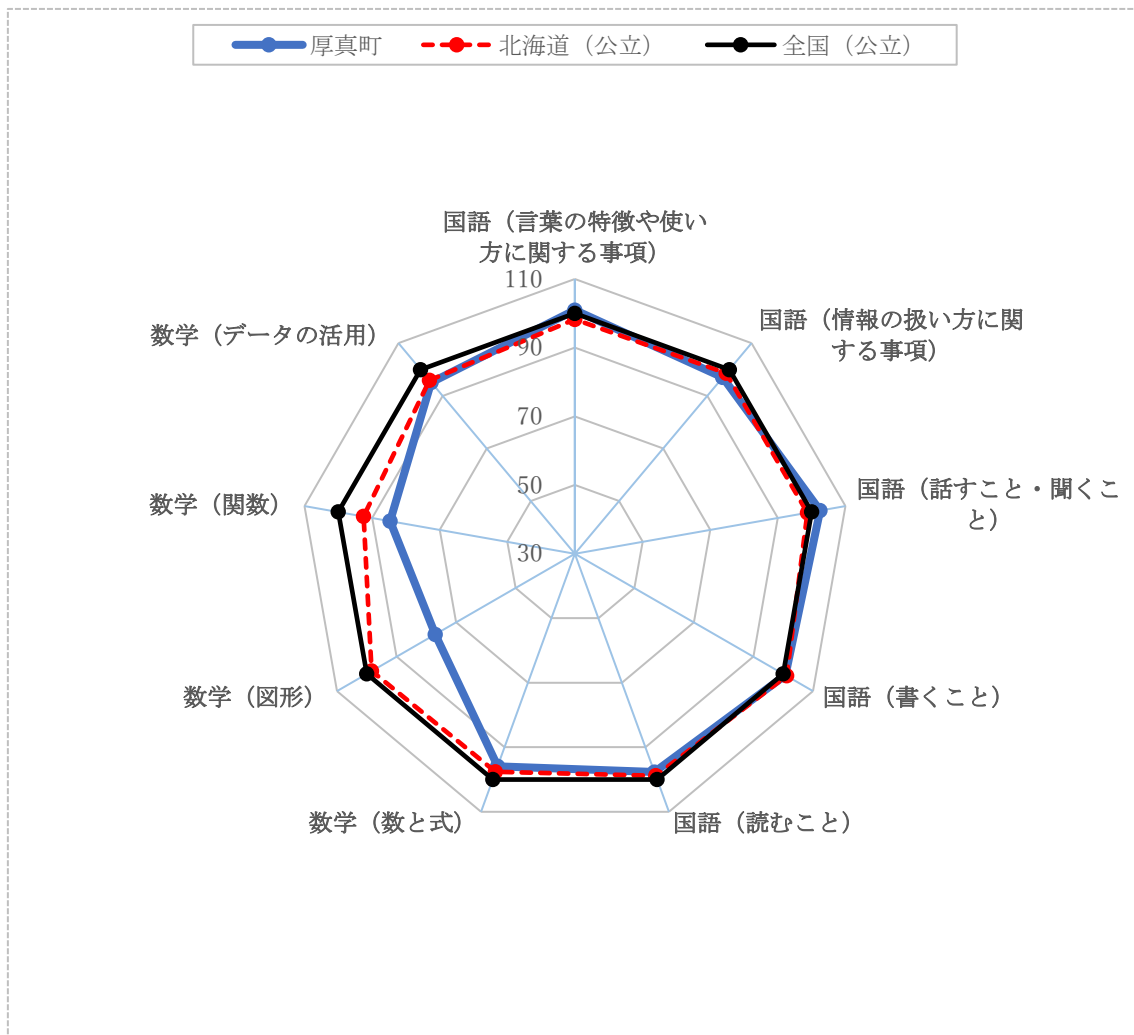
【国語】

- ・「書くこと」の領域において、全国平均より高くなっています。

【算数】

- ・「変化と関係」の領域において、全国平均より高くなっています。

【中学校】



【国語】

- ・すべての領域において、全国平均と同等となっています。

【数学】

- ・「図形」、「関数」は、全国平均より低くなっています。
- ・「数と式」、「データの活用」は、全国平均と同等となっています。

【英語】

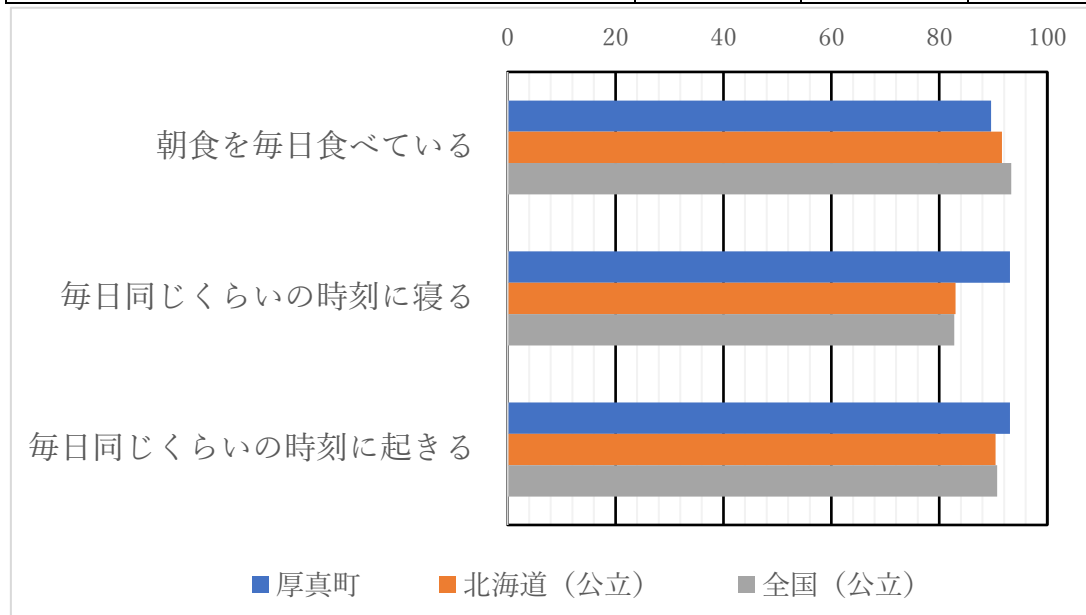
(CBT による調査のため、学校によって問題が異なる。このことからグラフでは示していません。)

(3) 児童質問紙調査の概況(小学校)

【生活習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
朝食を毎日食べている	89.6	91.6	93.3
毎日同じくらいの時刻に寝る	93.1	83	82.8
毎日同じくらいの時刻に起きる	93.1	90.4	90.7



(状況)

- ・「朝食を食べている」「同じ時刻に起きる」の割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「同じ時刻に寝る」の割合については、全国平均よりも高くなっています。

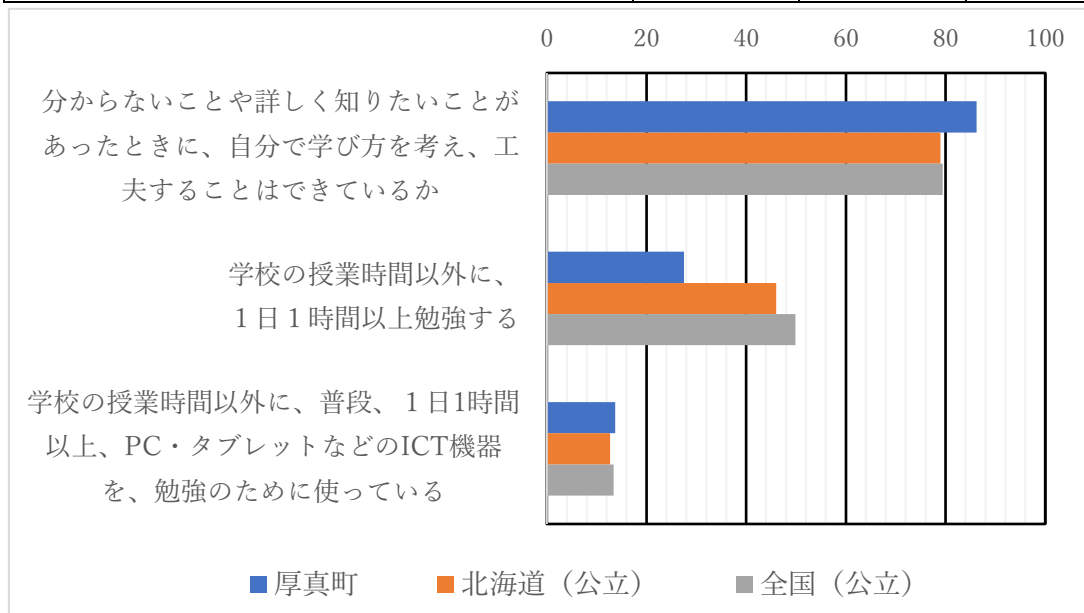
【今後の方策】

各小学校で取り組んでいる生活リズムチェックやメディアコントロールチャレンジの充実、また生活習慣の改善に向けた学校と家庭との連携をさらに推進して参ります。

【学習習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか	86.2	79	79.4
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上勉強する	27.5	46	49.9
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている	13.7	12.7	13.4



(状況)

- ・「自分で学び方を考え、工夫することはできているか」の割合については、全国平均よりも高くなっています。
- ・「学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている」の割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強する」割合は、全国平均よりも低くなっています。

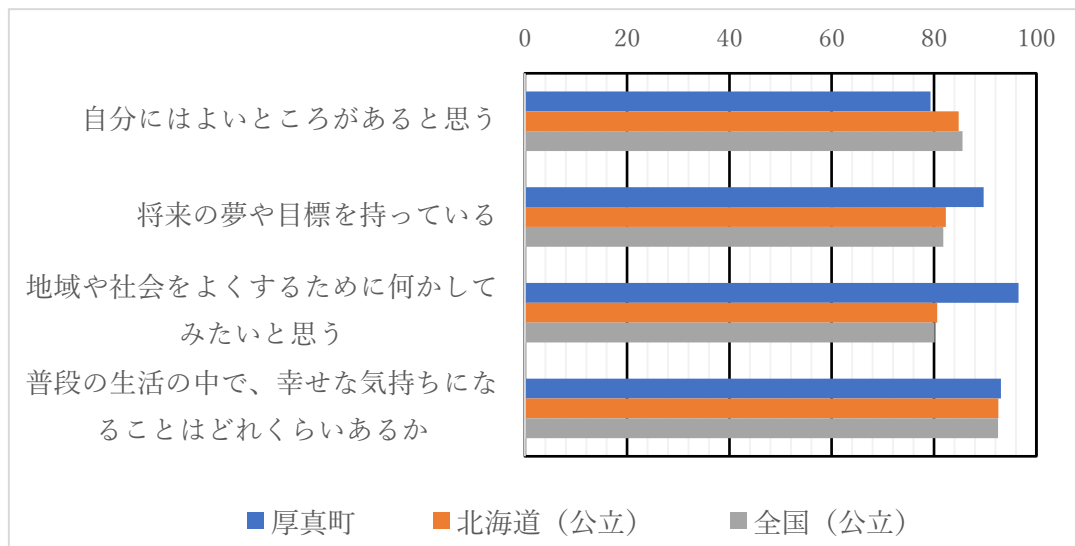
【今後の方策】

これらの項目において、主体的に取り組むことができる児童の姿が見られます。学校の授業以外に1時間以上学習する割合が低いことから、学習習慣の定着が課題です。学校の授業と家庭学習をどうつなげていくかの方策を検討して参ります。

【自尊心、規範意識、地域社会等】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
自分にはよいところがあると思う	79.3	84.8	85.6
将来の夢や目標を持っている	89.7	82.3	81.8
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	96.5	80.6	80.1
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか	93.1	92.6	92.5



(状況)

- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」の割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「将来の夢や目標を持っている」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の割合については、全国平均よりも高くなっています。
- ・「自分にはよいところがあると思う」の割合については、全国平均よりも低くなっています。

【今後の方策】

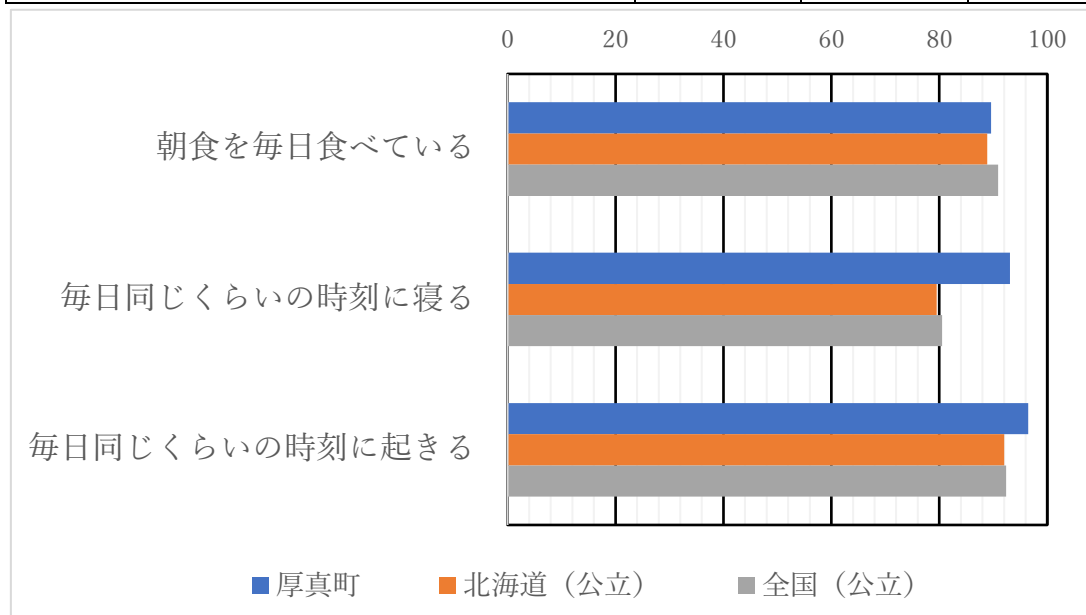
昨年度の結果では、「自己有用感」に関する分野が低い傾向にありました。それを踏まえた学校の取組がされた結果、改善が見られています。今後も、各校での取組を継続し、児童一人一人の様子を見取り、個別に相談の機会を持ったりして、安心して学べる場を作って参ります。

(4) 生徒質問紙調査の概況(中学校)

【生活習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
朝食を毎日食べている	89.6	88.9	90.9
毎日同じくらいの時刻に寝る	93.1	79.5	80.5
毎日同じくらいの時刻に起きる	96.5	92	92.4



(状況)

- ・「朝食を食べている」の割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「同じ時刻に寝る」、「同じ時刻に起きる」の割合については、全国平均よりも高くなっています。

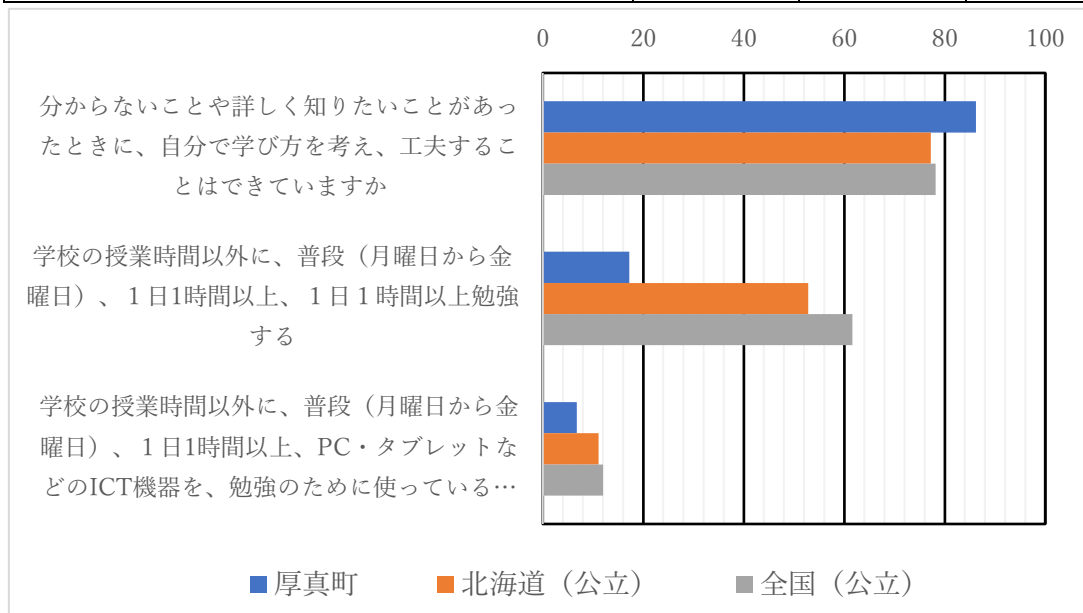
【今後の方策】

町内で取り組んでいるメディアコントロールチャレンジの充実、また、生活習慣の改善に向けた学校と家庭との連携をさらに継続して参ります。

【学習習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか	86.2	77.2	78.2
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上勉強する	17.2	52.8	61.6
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている	6.8	11.1	12



（状況）

- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか」の割合については、全国平均よりも高くなっています。
- ・「学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている」、「学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強する」割合については、全国平均よりも大きく下回っています。

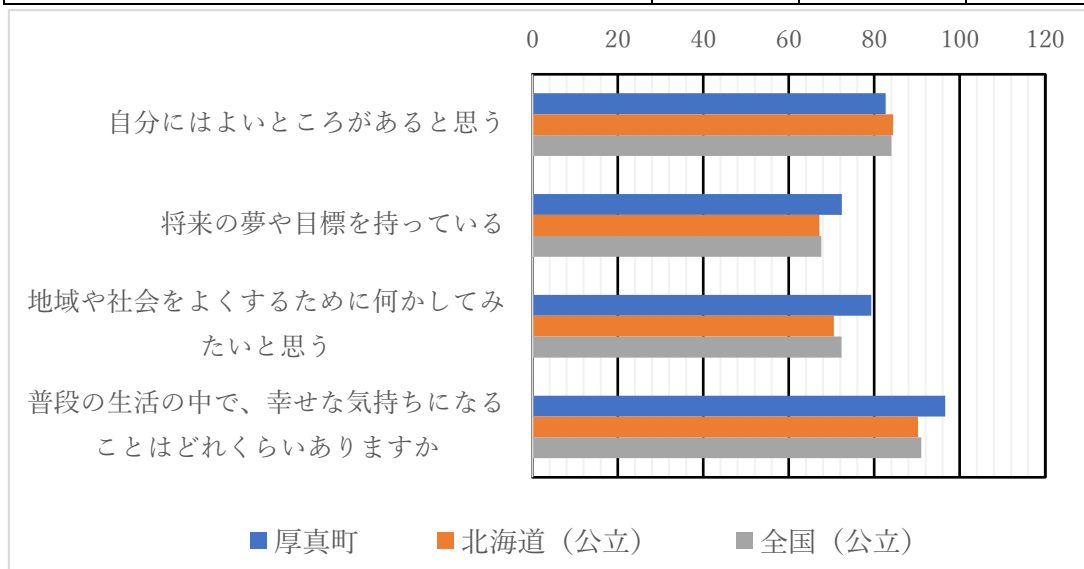
【今後の方策】

「学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上勉強する」の割合が、全国平均を大きく下回っています。小学校でもその割合は低いものの、中学校になると全国との差が大きくなる傾向が見られました。学校は小中一貫教育の取組の中で、小学校から家庭学習の習慣の実践を引き継ぎ、中学校でも確実に継続して行けるように支援して参ります。

【自尊意識、規範意識、地域社会等】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
自分にはよいところがあると思う	82.7	84.4	84
将来の夢や目標を持っている	72.4	67.2	67.6
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	79.3	70.5	72.3
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか	96.6	90.2	91



(状況)

- ・「将来の夢や目標を持っている」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」の割合については、全国平均よりも高くなっています。
- ・「自分にはよいところがあると思う」の割合については、全国平均とほぼ同様となっています。

【今後の方策】

昨年度の結果では、「自己有用感」に関する分野が低い傾向にありました。それを踏まえて、学校の取組がされた結果、今年度は改善が見られています。今後も道徳科を中心とした教科や総合的な学習の時間、学校行事等の機会を通して自分のよさに気づき伸ばす取組を進めるとともに、子どもの自己有用感を育てられるよう、教員が子どもに寄り添った支援をして参ります。